

別記第2号様式付表 (第5条関係)

**記載例**

紀州材証明書〔付表〕

規格欄に入力(3カ所)すると単位体積が、数量欄に入力すると材積が自動計算されます

・住宅に使用した構造材及び内装材のうち、乾燥紀州材について記載してください。

構造材 内装材 の種別	樹種	規 格 (mm等の単位を記載)	単位体積 (a)	数 量 (b)	材 積 (a) × (b)	含水率 (%)
土台	桧	5000 × 140 × 140	0.0980	16	1.5680	25
管柱	杉	3000 × 120 × 120	0.0432	50	2.1600	25
管柱	杉	3000 × 120 × 105	0.0378	10	0.3780	20
間柱	杉	2000 × 100 × 30	0.0060	120	0.7200	20
間柱	杉	3000 × 100 × 45	0.0135	30	0.4050	20
		× ×				
構造材内装材の種別及び樹種は手入力			含水率は手入力			
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
		× ×				
合 計				226	5.2310	

(記載要領)

- ①構造材の種類には、乾燥紀州材を使用した構造材及び内装材の名称を記載してください。  
(例：通し柱、管柱、間柱、筋かい、束、土台、大引、根太、梁、桁、母屋、棟木、胴差、火打ち、床材、壁材等)
- ②規格については、縦・横・高さ・幅・厚さ・延長等形状がわかるように記載してください。
- ③単位体積は、規格寸法から計算し、1本当たり等の体積を記載してください。
- ④数量は、本数などについて記載してください。なお、単位をつけてください。
- ⑤材積は、単位体積×数量で計算してください。
- ⑥体積、材積の単位はm<sup>3</sup>とし、小数点第4位未満四捨五入で記載してください。